

# 第1回 県内国公立大学薬学部設置推進事業構想審査会 議事要旨

## (開催概要)

日 時 2023年8月24日(木) 18:00~19:45

会 場 沖縄県薬剤師会 会議室

## (主なご指摘事項等)

### 1 沖縄県内国公立大学薬学部設置構想募集要領(案)

- ・募集要項の中で求める提案のレベル感については、問題はない。
- ・入学定員をあまり少なくすると、学部運営の財政面が厳しくなるため、入学定員は各大学が独自に検討して提案する枠組みになっていけばよい。
- ・応募の締め切りを前倒しにした方が、以降の検討や手続のための余力ができる。文部科学省に早く相談するためにも、締切を少しでも前倒しにすることを検討した方がよい。
- ・募集開始から締切まで3か月だが、大学側の提案準備は間に合うのか。応募期間の3か月は、大学側に構想提案を働きかけるために費やすべきであり、大学側を口説くという姿勢が必要ではないか。
- ・丁寧に説明するだけではだめで、もしも、大学からの応募がなければ、提案できない理由は何なのか、どうすれば手を挙げてくれるのかを考える必要がある。

### 2 沖縄県内国公立大学薬学部設置構想募集における審査項目・配点(案)

- ・「薬学部設置によって期待される効果の実現に向けた方策」が相対的に重視される配点となっており、審査項目と配点のバランスは問題はない。

### 3 県内国公立大学への説明の状況等

- ・何れの大学も、薬学部の設置については、様々な課題を抱えている。こうした課題について整理し、解決に向けてどのような対策が可能かを検討する必要がある。
- ・薬学部の入学定員を減らすことで、経費の削減や大学としての定員調整がしやすくなるということも考えられる。
- ・基金をつくって、薬学部開設後の10年間は、運営に伴う赤字を基金から補填するようなことができればよいのではないか。
- ・薬学部が設置された際には、OISTと創薬などで連携し、世界に羽ばたくような薬学部ができればよい。